



ルールを守ること

5月も中旬を迎えました。例年よりも雨の日が多く、気温も上がったり下がったりと安定しない毎日ですが、今日あたりから天気の良い日が続いていくという予報になっています。巷では冬眠から覚めたツキノワグマが人間の生活圏へと出没する情報が相次いでいます。5月10日(土)には、本校の学区である牛島西四丁目の住宅地内でも目撃情報があり、登下校に十分な注意が必要です。専門家の話によるとクマ被害は、クマと人間が会い頭に会ってしまい、パニックになったクマが人間を襲うというケースがほとんどなのだそうです。クマよけのために本校昇降口では毎日ラジオを流していますが、城南中生のみならずクマに遭遇しないために、**登下校の際は熊鈴がきちんと鳴る状態でカバンに付けておくこと**を徹底してください。万が一遭遇してしまった際の一般的な対応についても、以下に記載しておきますので、必ず目を通しておいってください。



<いらすとやより>

- ①クマがこちらに気付いていない場合やクマとの距離が遠い場合は、その場から離れます。クマがこちらを注意している場合は、クマの様子を見ながら、**慌てず、騒がず、走らず、クマに背中を見せないようにゆっくりと静かに後退**します。
- ②クマが近づいてくる場合は、まず落ち着き、**両手を上げて自分を大きく見せながら穏やかに声をかけると同時に、クマとの間に電柱や立木などの障害物が来るように静かにゆっくり後退**します。
- ③クマに襲われた場合は、致命傷を避けるため、**地面に伏せ、両手で首の後ろをガード**します。**腹、首、頭を守る姿勢**が重要です。転がされてもその勢いで元の姿勢に戻るようにしましょう。

さて少し前の話になりますが、今年1月に走行中の電車に乗務する車掌が、乗務員室で私用のスマートフォンを使ってゲームをしていたという事案を受け、電車の運行を管理する京王電鉄が、当該の車掌2名を社内規定に基づいて処分する方針であるとのニュースが報じられました。電車運行の安全管理という面からクローズアップされた報道ですが、そ

もそも労働者は労務の対価として賃金を受け取っており、勤務時間内は業務に専念すること(職務専念義務)が求められます。こうしたことは、2人の車掌も十分理解していたはずですが、実際は2人ともこの職務専念義務に違反してしまっています。何故そうなるのか考えてみると、そこにはおそらく子どもっぽい心での甘い判断があるように思えます。また、ゲームやアプリなどは「報酬系」の仕組みが用いられているため、その要請に心が支配され、正しい判断ができなくなってしまうということもあるかもしれません。

- ・バレなければ大丈夫
- ・ちょっとくらいなら平気
- ・自分だけじゃない、他の人もやっている
- ・見つかったら…というスリルがある
- ・今やらなきゃレアアイテムをゲットできなくなっちゃう…
- ・制限時間内に投稿しなくちゃ…

ゲームやスマホなどをやっている、ついついやめられなくなってしまうということは誰にでもあると思います。しかし、ちょっとしたルール違反の積み重ねが、だんだんエスカレートし、最終的に依存症や犯罪へとつながってしまうほど自制が効かなくなるということも、割と身近にある話で、たいへん恐ろしいことです。自分の健康に悪影響を及ぼしたり、せっかく手にした仕事を失ってしまったり、または他人の生命や財産に損害を与えるような行為をしてしまったり、そのことに對する罪の意識がなくなってしまう…。そうなる前に自らをしっかりコントロールできるように、ルールはきちんと守るということ意識をしていきましょう。

ルールを守ることには、とてもよい効果もあります。「東大へ行け」のセリフで有名な漫画「ドラゴン桜」では、「ルールを守るためにはルールを正しく理解する必要があり、今あるルールを詳しく知って、そのルールの中で工夫を重ねることで独自の発想が生まれる。例えばサッカーのルールを理解し利用することによって、いろいろな攻撃のバリエーションが生み出される。技術革新や科学的発見の分野でも基本的原理は研究分野のルールであり、これを理解し発展させることで次の新たな原理が生まれる。ルールをはじめから無視しているやつは何も考えていないだけ。基礎を無視するやつの発想は所詮的外れ。」と述べられています。独創的で斬新な考え方を「型破りな発想」といいますが、この言葉は、しっかりとルールに則って創り上げ、洗練された「型」の先にある発想であるということ、改めて感じさせられました。